



## 藍綬褒章の受章を報告

春の褒章で、長年、保護司活動に尽力した功勞により、藍綬褒章を受章した池田伊奈子さんが、市長への受章報告のため市役所を訪問しました。

池田さんは、平成6年に保護司を委嘱され、これまで罪を犯した人の更生の支援や犯罪の予防のためボランティアで活動をされています。受章おめでとうございます。



## 島原更生保護女性会が太鼓のバチを寄贈

6月27日、島原更生保護女性会の皆さんが口之津中学校に、生徒が使う瀬詰太鼓のバチを寄贈しました。

島原更生保護女性会は物品の頒布活動で得た収益金の中から10万円を「愛の基金」として設け、平成16年から毎年、島原半島3市の小中学校や公共施設などに物品を寄贈しています。

## いつまでもお元気で

～100歳おめでとうございます～

次の方々がお誕生を迎えられました。おめでとうございます。

・永石 シヅエさん（深江町）  
大正6年6月29日生まれ

・城谷 ヨシエさん（北有馬町）  
大正6年7月4日生まれ



## 7月7日は何の日？

7月7日の「そうめんの日」に合わせ、市内小中学校で給食にそうめん料理を提供しました。西有家小学校では、そうめんや鶏肉、豆腐、オクラなどが入った「七夕そうめん汁」を提供し、子どもたちはおいしそうに食べていました。また、西有家のあけぼの会館では、市商工会女性部によるそうめんの日イベントが開催され、参加した西有家保育園の園児たちが、七夕の短冊に飾りつけを行った後、そうめん流しを楽しみました。

本市では、特産品である島原手延そうめんの普及促進、知名度向上及び消費拡大を図る取り組みを行っており、その一環としてそうめん給食を提供しています。



## イタリアのコンテストで島原手延そうめんが優勝

6月22から25日にかけて、イタリアのサンピエトロ島で開催された、「ジエートンノ（マグロ祭り）」での国際的なマグロ料理コンテストにおいて、ミラノの高級レストランで活躍する市川晴夫シェフ率いる日本チームが、南島原の手延そうめんを使った料理で優勝しました。

市では、島原手延そうめんのブランド力強化のため関係団体と連携し、欧州での販路開拓に取り組んでいますが、その品質が高く評価され、今回の食材として採用されました。



## 翔南高校生が選挙を体験

7月13日、翔南高校で通常の選挙と同じ方法による、生徒会役員選挙が行われました。この取り組みは、生徒たちに主権者としての意識を高めてもらうことを目的に、南島原市選挙管理委員会と連携して行われたものです。

選挙では、実際の選挙同様、入場券や、投票用紙・記載台・投票箱などを使用した投票が行われ、生徒たちは緊張した面持ちで投票していました。



## 中国の修学旅行団が加津佐中学校と交流

7月7日、中国上海市風華初等中学校修学旅行団41名が本市を訪れ、加津佐中学校で初となる学校交流を行いました。

交流では地元の紹介や加中ソーラン節の演舞、風華初等中学校の校歌の披露など実施しました。また、七夕飾りの製作では加津佐中学校の生徒が中国の生徒たちを身振り手振りでリードして、それぞれ願いを込めた七夕飾りを完成させました。はじめはお互いに緊張していましたが、さまざまな交流の中で徐々に打ち解け、最後はハイタッチでお見送りするほど心の交流を図ることができました。わずかな時間でしたが、それぞれの文化の違いを感じることができる貴重な時間となりました。



## 宮中献穀田を早乙女、早男が彩る

宮中に献上する新穀を、加津佐の津波見地区で奉耕するにあたり、6月25日、同地区で「お田植祭」が実施されました。

当日は、宮中献穀南島原市奉賛会の関係者や地元住民が集い、参進行列や神事が行われました。その後、加津佐小・野田小の2年生から6年生の児童14人が早乙女・早男に扮し、奉耕田に田植えを行いました。

## Focus in 南島原 まちの話題



## 伝統漁法「石干見漁」を体験

6月25日、布津町内の児童が有明海の干満差を活かした「すくい漁」を体験しました。

すくい漁は、海岸を石垣で半円状に囲った仕掛けで、引き潮で逃げ場をなくした魚を捕まえる漁法です。

児童たちは、先生や保護者、地域の皆さんが見守る中、いろいろな海の生き物を捕まえて歓声をあげ、楽しいひと時を過ごしました。



## 郷土民謡民舞の全国大会へ出場

長崎市のNBCビデオホールで開催された、郷土民謡民舞長崎地区連合大会において、本市の宮川浪枝さんが大賞を受賞し、10月に埼玉県で開かれる全国大会への切符を手に入れました。今回、宮川さんは、民謡4部門の優勝者の中から大賞に輝きました。

※優勝は5大会連続。